

【簿記】

＜学習内容について＞

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を育成することを目指す科目です。

＜教材について＞

教科書：『新簿記』新訂版（実教出版）

＜レポートについて＞

レポートの回数は、前・後期それぞれ4回です。

〔前期〕

簿記の基礎 資産・負債・純資産と貸借対照表 収益・費用と損益計算書 取引と勘定
仕訳と転記 仕訳帳と総勘定元帳 試算表 精算表 決算 現金・預金の取引

〔後期〕

商品売買の取引 掛け取引 その他の債権・債務の取引 固定資産の取引
販売費及び一般管理費の取引 決算整理 8桁精算表 帳簿決算

＜学習の進め方について＞

教科書をすみずみまで読んで、レポートを仕上げましょう。朱書きをするところ、罫線を引くところ等、よく見て取り組みましょう。学習書を活用しましょう。

＜スクーリングについて＞

半期で5時間の出席が必要です。教科書と学習書を必ず持ってきてください。基本的には提出期限日が近いレポートの内容を扱います。

＜評価について＞

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とする。

〔知識・技能〕

簿記の定義、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史、簿記の前提条件について、その知識・技術を身に付けている。

〔思考・判断・表現〕

簿記の定義、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史、簿記の前提条件について、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。

〔主体的に学習に取り組む態度〕

自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。